

# 太平洋クロマグロ2016年生まれ 加入量モニタリング速報 (第1段階 2016年10月)

国立研究開発法人  
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 太平洋南および九州西※<sup>1</sup>で操業した曳縄モニタリング船※<sup>2</sup>について、夏季(7~8月)のCPUE(漁獲努力量あたり漁獲尾数)を南西諸島海域生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2016年における夏季の曳縄モニタリング船CPUEは、2011~2015年平均の121%、前年比156%であった。
- 上記から、2016年の南西諸島海域生まれの加入量水準は、2015年を上回る可能性が高い。

(※<sup>1</sup>)太平洋南は、宮崎県、高知県、和歌山県、三重県。九州西は、長崎県。

(※<sup>2</sup>)2011年からモニタリングを開始。51隻のヨコワ曳縄漁船を対象としている。

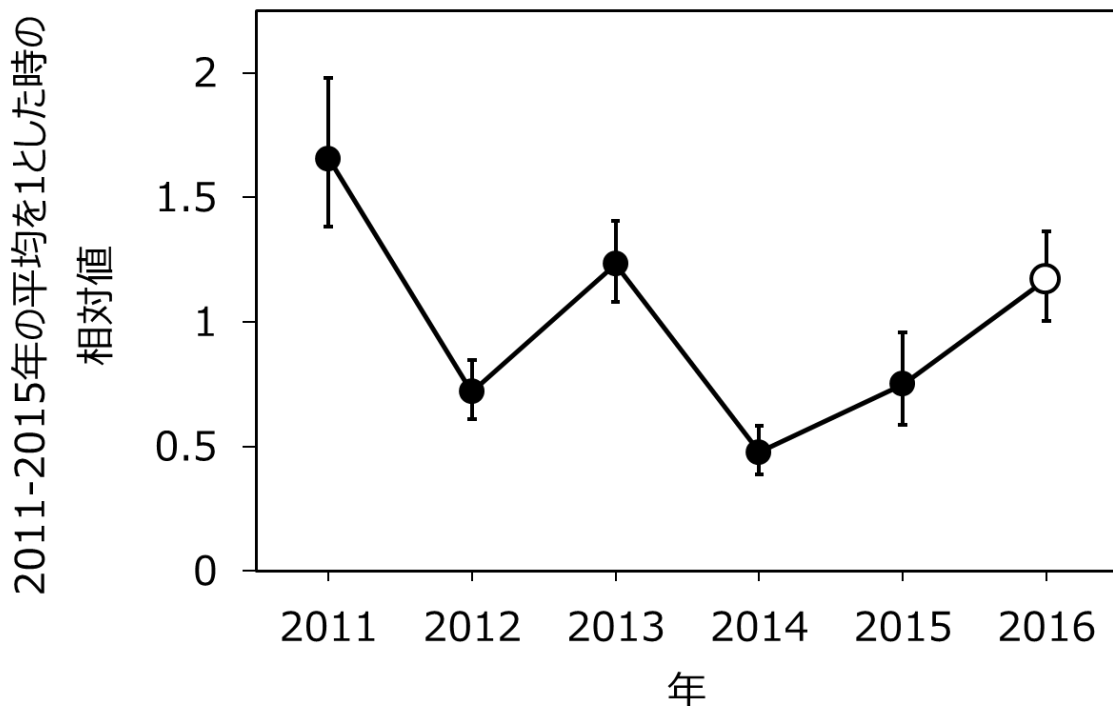


図. 2011~2016年の夏季の曳縄モニタリング船CPUEの相対値.  
図中の垂線は95%信頼区間.